



楠木 建

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 郵便番号 101-8439

03.4212.3044

kkusunoki@ics.hub.hit-u.ac.jp

一橋ビジネススクール教授。専攻は競争戦略。企業が持続的な競争優位を構築する論理について研究している。大学院での講義科目は **Strategy**。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。一橋大学商学部専任講師(1992)、同大学同学部助教授(1996)、ボッコローニ大学経営大学院(イタリア・ミラノ)客員教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授(2000)を経て、2010年から現職。1964年東京都目黒区生まれ。

著書として『逆・タイムマシン経営論』(2020、日経 BP、杉浦泰との共著)、『「仕事ができる」とはどういうことか?』(2019、宝島社、山口周との共著)、『室内生活:スローで過剰な読書論』(2019、晶文社)、『すべては「好き嫌い」から始まる:仕事を自由にする思考法』(2019、文藝春秋)、『「好き嫌い」と才能』(2016、東洋経済新報社)、『好きなようにしてください:たった一つの「仕事」の原則』(2016、ダイヤモンド社)、『「好き嫌い」と経営』(2014、東洋経済新報社)、『戦略読書日記』(2013、プレジデント社)、『経営センスの論理』(2013、新潮新書)、『ストーリーとしての競争戦略:優れた戦略の条件』(2010、東洋経済新報社)、*Dynamics of Knowledge, Corporate Systems and Innovation* (2010, Springer, 共著)、*Management of Technology and Innovation in Japan* (2006, Springer, 共著)、*Hitotsubashi on Knowledge Management* (2004, Wiley, 共著)、『ビジネス・アーキテクチャ』(2001、有斐閣、共著)、『知識とイノベーション』(2001、東洋経済新報社、共著)、*Managing Industrial Knowledge* (2001, Sage, 共著)、*Japanese Management in the Low Growth Era: Between External Shocks and Internal Evolution* (1999, Spinger, 共著)、*Technology and Innovation in Japan: Policy and Management for the Twenty-First Century* (1998, Routledge, 共著)、*Innovation in Japan* (1997, Oxford University Press, 共著)などがある。

「楠木建の頭の中」 (<https://lounge.dmm.com/detail/2069/>) というオンライン・コミュニティで、そのときどきに考えたことや書評を毎日発信している。